

会 議 記 録

政策企画局 市民参加・協働推進課

開催日	平成 24 年 1 月 23 日(月)	開催時刻	18 時 30 分から 19 時 30 分
会議名	上田西部地域協議会(平成 23 年度第 9 回)		
出席者	小林委員、小宮山委員、佐藤祥一委員、鈴木委員、関委員、高橋委員、竹内委員、竹村委員、中島委員、成田委員、藤作委員、布施委員、増田委員、松本委員、宮尾委員、宮下委員 (欠席委員) 佐藤修一委員、原委員、渡辺委員 (事務局) 山崎市民参加・協働推進課地域振興政策幹、林市民参加・協働推進課課長補佐、堀内市民参加・協働推進課主査		
会議次第	<p>1 開会(副会長)</p> <p>皆さんこんばんは、今年初の地域協議会になります。本年もよろしくお願ひします。これより第 9 回上田西部地域協議会を始めたいと思います。</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>こんばんは。昨年は本当に災害の多い年で、大変な年でしたが、今年は何とか被災者の方も復興されて元気になって欲しいと思います。先日、テレビで被災地の事を伝えていましたが、被災された方は本当に大変だったと思う。そんな中でも我々は、少しでも力になっていけたらと思います。今日は議題については 2 つです。今年、3 期目になりますが、皆さんに色々話を聞きながら進めてまいりたいと思います。宜しくお願いします。</p> <p>3 会議事項</p> <p>(資料)・平成 23 年度 自主的研究・検討状況 ・地域協議会意見書提出一覧</p> <p>それでは議題に入ります。西部地域協議会の意見書の提出について昨年 12 月 15 日、市長へ提出しました。市長、政策企画局長、市民参加・協働推進課参事、教育次長に出席して頂き、公民館の建替えに関する意見書を提出しました。私から意見書を市長に手渡し、内容について説明しました。皆さんは内容についてお分かりですので説明はしませんが、その後、関委員から分科会において検討された事項を具体的に市長に報告しました。市長からは、まだ回答は頂いていませんが、</p>		

感觸的には前向きに受け取って頂いたように思えました。

西部・塩尻地区の自治連も 11 月 30 日に要望書を提出していて、今回の 12 月 15 日は同じような内容になりますが、2 度に渡り説明しましたので、市の方も内容については良く理解していたと思います。分科会でもかなり細かく内容を決めていたので市としてはここまで出来上がっているのかと思われるくらいの感想をいただきました。後は、実際に作っていただけです。来年度か今年度かは分かりませんが、これからが本番になると思います。お金のかかることなので、簡単にはいかないと思いますがこれからが大事だと思う。議題の 1 については以上です。今回同席された関委員、何か補足等ありますか。

関委員： 当日参加された方は 6 名で、提出の際にいただいたお話について、内容を簡単に説明します。

「住民の意見はかなり高まっていると感じます。協議会の内容につきましても大変細かい所まで配慮して頂いて、ここまでご協議・検討を頂きまして改めて感謝したい。最近よく言われるコミュニティづくり、これは大切な所でございます、拠点を持つ、機能を良くさせるにはそれ相応の箱物がなくなかなか前へ進まない結果になり、残念なところであります。施設整備のタイミングとして色々なタイミングが重なってきてまさに皆さんからすればチャンスという思い。我々も必要な物は住民の皆さんの願う所としてコミュニティの活動拠点という事を視野に入れながら、計画的にこういう施設を作っていかなければならない。合併後、いくつかは建設済、建設中であり、防災拠点としての機能というご指摘もありました。防災については全市に目配りしながら、どうこういった物を整備していくか、これは西部に限らず危機管理上新たな役割を考える必要があります。場所についても言及が改めてありました。基本的には現土地を利用しながら、産院また借りている土地も含めてあの辺りをどうするのか一体的に検討していかなければなりません。皆さんのご意見を受け止めさせて頂き、一日も早くという話もございますが計画的という視点の中でなるべく意に添えるような状況に、そんな思いでいます。色々な計画が市全体としてもあるわけで、時間もかかるものがありますが、こういったものはご理解頂く中で進めてまいりたい。」

と、前向きな意見をいただくことができました。以上です、ありがとうございました。

会長： お聞きの通りです。非常に前向きに我々のほうに受け止めていただいていますので期待しようと思う。この件について何か質問ありますか。

では次に、他の地域協議会での活動を我々も理解したいと思うので事務局の

方から説明をお願いします。

事務局： 資料の平成 23 年自主的研究・検討状況については昨年に作成した物です。それから地域協議会から提出された意見書の一覧もご確認下さい。

それでは中央地域協議会の方から説明させていただきます。

《中央地域協議会》

公衆トイレの整備・歴史的資源の魅力ある地域づくりや観光資源の活用策・歴史的町名の保存と活用・この 3 つのテーマで分科会を設けています。

意見書は、公衆トイレの整備、歴史的町名の保存と活用について、これを分科会で意見書としてまとめて中央協議会として提出しています。

《城南地域協議会》

平成 22 年まで意見書を出していて、着工する前、城南公民館の新築について平成 22 年 9 月 22 日に意見書を提出。22 年度他の地域協議会の中で意見書を出されたのは唯一、城南地域のみです。

城南の分科会は、道と川の駅を活用した地域振興・交通機能の整備・地域医療体制整備、地域で子育て・里山の再生・歴史的資源の保存と活用・の 4 分科会を設けて今回、城南では 2 つ、上田道と川の駅を活用した地域振興の拠点づくりと上田城南地域の自然的、歴史的資源の再認識と地域づくりの活用に対する提言、を意見書として提出しています。

《神科・豊殿地域協議会》

分科会を設けず、全体会の中で協議をしています。意見書は提出していません。

《塩田地域協議会》

委員会形式も設けて地域振興委員会・地域交通委員会、ためいけ活用委員会、現時点では意見書の提出はされていません。

《川西地域協議会》

部会形式で、自然保護活動の推進・農業を主体とした産業の振興・災害に強いまちづくりの推進 の 3 テーマで研究しています。意見書は子供の遊び場の確保、自治センター跡地を活用した住民憩いの場について。平成 23 年 8 月 31 日に意見書を提出しています。

《丸子地域協議会》

専門部会と研究会を設けて、研究会は公共交通・地域医療・荒廃地解消・緊急時連絡カードマップです。現在まで、意見書の提出はありません。

《真田地域協議会》

分科会を設けて、総意と工夫の地域づくりの推進・地域の活性化に向けた交通ネットワークの整備・安心して暮らせる地域づくり。それぞれの分科会で意

見書をまとめ研究を進めています。

《武石地域協議会》

自治会と地域協議会選出委員で構成され、武石地域全域公園化構想の検討、武石に適した花木の選定でタウン化構想を検討していますが、意見書の提出はありません。

平成 22 年 2 月 2 期に提出した意見書に基づいて第 3 期は調査・研究がされています。

会長： やはり、歴史や地域の資源を活用した内容になっている。質問ありますか。西部地区以外にはどこの地域が出されたか。

事務局： 川西は 8 月に出した。同席していませんが、真田はこの前、1 月 20 日に地域づくりの推進・地域交通の整備・地域づくりの推進を提出しました。城南の 2 つのテーマは継続審議されています。

会長： 西部地区の意見書の回答は 2 月にご報告する。では次にその他お願いします。

事務局： 市民公募債の愛称募集のお知らせ・別所線利用促進講演会のお知らせ

副会長： それでは、本日は終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

4 次回会議の開催と日程について

第 10 回西部地域協議会 平成 24 年 2 月 23 日（木）

第 11 回西部地域協議会 平成 24 年 3 月 23 日（金）

5 閉 会